



支援校へ写真や手紙で思いをつづる児童(小6)



合同の運動会で仲良く手をつなぐ(昨年度の様子)

沼田東小学校(松井秀幸校長・児童数263人)は、平成11年度に同敷地内に沼田特別支援学校が県立榛名養護学校沼田分教室として開校以来、交流を続け思いやりの心を育んでいる。あいさつなど日常の触れ合いや、授業の一環で児童が支援校へ出向いている。

毎年9月に開かれる合同の運動会では、共にダンスや手つなぎリレーなどを行い、保護者や地域は温かいまなざしで見守ってきた。今年度は新型コロナウイルスで中止となり、沼東小のみで行った代替行事「運動マーチング集会」での写真や手紙を支援校へ届けた。町田唯愛さん(6年)は「交流ができなかったのは残念だが、今できることで思いを届けられてよかった」と話し、横坂紗椰乃さん(6年)は「これまでを振り返り「支援校を訪ねて楽しく遊べたことが何よりの思い出」と笑顔だった。

#### 編集後記

某取材先で「先月号の学童の特集がよかった」と小学生に話し掛けられ、紙面の内容や裏話などで盛り上がりました。若い人にも読まれる広報紙を目指して昨年5月にリニューアルした結果が、少しずつ現れてきたと実感しています。今月号の子ども議会では、沼田の将来を考える子どもたちを紹介。ご覧ください。(o)

#### 今月の表紙



プロ野球選手の高橋光成さんが、FMOZEに訪れtengooアプリ版の音声収録に臨みました。「自分の声を使ってもらえて嬉しい」と笑顔で引き受け、野球をしているときとまた違った一面が印象的でした。

# Numata

広報ぬまた

Jan. 2021  
No. 917



未来の沼田をつくる  
新しいおかね



てんぐー使えます



#### 主な内容

- 02 新年あいさつ
- 04 特集1 子ども議会
- 06 特集2 宮川ひろさん 名誉市民に決定
- 07 tengoo 導入実証実験